

## 健康日本 21 清須計画（第 2 次）及び清須市自殺対策計画に関する実務者会議報告書

1. 日 時 令和 5 年 8 月 2 1 日（月）午後 2 時から 3 時 3 0 分
2. 場 所 南館 3 階 大会議室
3. 参加者 33 名（市役所職員、社会福祉協議会職員）
4. 内容
  - 1) 健康日本 2 1 清須計画（第 2 次）及び自殺対策計画について概要説明
  - 2) 各課のとりくみ状況についてグループワーク
    - ① 健康に関することについて、課でのとりくみ状況の共有
      - ・ウォーキング等しやすい道路の環境づくり（側溝掃除は体を動かすことにもつながる）。
      - ・特定健診を受診し、健康な体づくり。受診者に市内店舗と共同したクーポンを配布。
      - ・各種イベント（ペットボトルいかだ、ダンスイベント等）で人とつながるきっかけ作り。
      - ・小中学校は給食を通して食育啓発、保育園、幼稚園は栄養士が給食たよりを作成。
      - ・地域活動活発化のため、資材の貸し出しや活動費の助成。
      - ・けん玉は手足や膝を使うためフレイル予防につながり、出前講座をしている団体もある。
      - ・日々の運動、睡眠、食事の大切さを説明。

<職員に対して>

      - ・計画的に年休をとれるようにしている（年間 10 日間くらいとれるように）。
      - ・業務量が個人に偏らないようにしている（残業で生活リズムが乱れるため）。
      - ・業務について課内で情報共有出来るように、記録簿を作成している。
      - ・日頃からコミュニケーションしやすい環境づくりや、孤立する職員がいないように配慮。
    - ② 自殺対策計画または自殺対策について、課でのとりくみ状況の共有
      - ・安全な環境を整備するよう考える（転落防止策をする、柵の高さを高くするなど）。
      - ・生活困窮者には減免制度などを知らせる（生活保護対象の方は、社会福祉課につなぐ）。
      - ・市民にとって目につきやすい場所に自殺対策のチラシなど啓発する。
      - ・町内会、民生委員と繋がる。
      - ・業務上、「自殺」のワードは身近にあり、「死にたい」と相談があることもある。困り事、不安を傾聴し、サービスや支援につなげている。
      - ・相談に入るときには、できること、できないことをはっきりと伝えつつ、安心できる声かけを心がけている。フードドライブは、面接のきっかけ作りにもなり、相手の表情が和らぐこともある。南館 1 階にフードドライブあり、毎週何かしらの食料が入っている。
      - ・イベントを充実させて参加者が増え、コミュニケーションの強化で地域の絆を深める。
      - ・心の安定を保つために、相談しやすい環境づくり。

<職員に対して>

      - ・若い世代が積極的に話せ、アドバイスしあえる環境作りを心がけている。
      - ・相談にのる職員も情報交換し、一人で抱えこまないように心がけている。
      - ・職員間のコミュニケーションや人材育成の研修等のフォローを行う。
      - ・障害者サポートセンターでは、4 人の相談員がおり、相談を受ける方も限界があり、4 人で情報共有し時間外まで精神的に引きずらないようにしている。

## 【総評】

愛知県清須保健所 総務企画課 保健師 山口 梨恵 様

睡眠、人とのつながりなど多くの意見が出ていた。国は、健康日本 21 計画の評価を出しており、悪化している項目は、メタボリックシンドロームが減少していない、適正体重が減っていない、睡眠・休養がとれていない、生活習慣の飲酒量が減っていない等があげられる。第 3 次計画を策定するが、現在とりくんでいることが評価時に効果がでていと良い。

愛知県清須保健所 健康支援課 精神保健福祉相談員 桑山 陽子 様

保健・福祉・医療の問題として社会上・家庭上・生活上の問題の視点を取り入れて取り組んでおり、健康づくりにつながっている。ゲートキーパーは、話を聞いて、気づいて、支援につなぐ。市民は、目的があって SOS を出すことは少ない。窓口での対応、係や課内の情報共有から支援につながる事もある。重層的支援事業の視点を持った仕組みづくりがあっても、実施できる物ではない。女性・若者の死亡増加。清須市は、学齢期での正しい理解、子どもへの支援を実施しており、職員自身のメンタルも大事にし、自殺対策を進めて欲しい。

### 3) 従事者の意見・感想

- ・実務者会議の内容が、「内部の事か外部の事かわからなかった。」と意見があった。
- ・自殺対策計画は、最新のデータが入っていたので、グループワークしやすかった。
- ・とりくみのない課もあったが、共有できてよかった。
- ・住民のメンタルヘルスや自分の身の回りのメンタルヘルスの話題になっていた。
- ・健康づくりはテーマが大きく、直接関わる事がない課が多い。実務者会議で、健康日本 21 計画を共有できることが良い。
- ・各課に働きかけて、忙しい時期を避けて開催すると参加者が多いのではないかと。
- ・睡眠・喫煙・メンタルはこころに響く事だった。職場・地域・家族と広がった。
- ・清須保健所の総評で、国の計画、他市町の状況を助言してもらえて良かった。

### 5. まとめ

今回の会議を通して、グループワークを実施することで、各課のとりくみについて情報共有する事ができ、また関係課や関係機関と交流し繋がりをもつこともできたため、引き続き他課と連携しながら健康計画の推進に努めていきたい。

